

# 耳あか

監修／笠井耳鼻咽喉科クリニック 自由が丘診療室  
院長 医学博士 笠井 創 先生

## 外耳道の構造と耳あか

耳の入り口から鼓膜までの管のことを「外耳道」といいます。外耳道は成人の場合、長さが平均約3～3.5cmあり、外側(耳たぶ側) 1/3を軟骨部外耳道、内側(奥側) 2/3を骨部外耳道といえます。

外側にある軟骨部には毛や耳垢腺(じこうせん)、皮脂腺があります。耳あかは、この耳垢腺や皮脂腺から出る分泌物が、古くなった表皮や外から入ってきたチリ・ホコリと混ざりあったものです。汚いと思われる耳あかですが、実は次のような重要なはたらきがあると考えられています。

- ・酸性で、殺菌作用がある
- ・タンパク分解酵素が含まれていて、殺菌作用がある
- ・脂肪分が含まれていて、耳の中に適度な潤いを与え、皮膚を保護してくれる
- ・苦みがあり、昆虫などの侵入を防いでくれる

## 乾性の耳あかと、湿性の耳あか

耳あかには、黄白色でカサカサした乾性のもの(こな耳)と、褐色でネバネバした湿性のもの(あめ耳)の2種類があります。この性状は生来のもので、遺伝性があります。また人種性があり、一般に日本人は黄白色の乾燥した耳あかが多